

地域・在宅看護方法論

ナンバリング:N2-S1-D03

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

子どもから高齢者まですべての年代、健康の保持増進から看取りまであらゆる健康レベルの対象者が地域で暮らす中、多様な事例を通して、在宅療養者と家族に対しての日常生活援助や医療的ケアについて具体的な技術を学ぶ。病院から自宅・施設へ療養の場の移行に伴う退院移行支援の必要性について学び、地域・在宅における看護過程の特徴をふまえ、情報収集・アセスメント・計画立案・実施評価の一連の流れを学修する。その中で、本人・家族の希望を重視しながら看護課題・ニーズに対応するため、多職種・多機関との連携、看護職間の連携、近隣住民との連携がかかせないことを学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

地域に暮らす在宅療養者と家族を対象とした看護過程の展開を実施することにより、生活の中に医療的ケアを取り入れ、その家庭にあった物品の工夫、本人・家族への療養生活の指導など具体的な看護計画の立案が必要なことを理解できる。また、地域・在宅看護で多く出会う脳卒中後遺症・小児・終末期・難病などの事例を想定し、その対象にあった在宅療養生活と医療的ケアについてイメージできる。同時に、在宅療養を継続する中で疾患や障害の理解とともに、本人・家族を取り巻く環境の中で起こりうる問題である老々介護、介護疲労、社会的孤立などの社会的背景をふまえ、どのような支援が必要なのか考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 病院と自宅・施設等との継続看護について、スムーズな移行・連携のために必要な体制について説明できる。
2. 地域・在宅における看護過程の特徴を理解し、情報収集、アセスメント、目標設定、計画立案、実施評価の過程について説明できる。
3. 事例を通して、個人の生活を把握し、健康状態との関連をアセスメントできる
4. 事例を通して、家族の生活を把握し、家族員の健康状態との関連をアセスメントできる
5. 地域に暮らす在宅療養者と家族に応じた日常生活援助および医療的ケアについて説明できる。
6. 地域に暮らす在宅療養者と家族を支援するための具体的な社会資源の活用について考えることができる。
7. 地域には多様な疾患・障害、社会的背景をかかえながら生活している人々があり、その人らしさを尊重して支援することが大切なことを理解できる。

・授業日程

【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/17 水 2限	【授業内容】 療養の場の移行に伴う看護 ・継続看護の重要性を述べることができる ・医療施設、介護施設の概要を説明できる ・退院前カンファレンス、地域連携クリニックパスについて説明できる 【関連するSBO】 1 【事前学修：120分】 教科書①4-1「医療機関との連携」4-2「医療施設や介護施設と連携」を読み、施設サービス、在宅サービスを整理する 【事後学修：120分】 療養の場の移行に伴う看護の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授

9/17 水 4限	【授業内容】患者サポートセンターにおける入退院支援の実際(ゲストスピーカー) ・療養の場の移行に伴う入退院支援に関わる看護職の役割を説明できる ・退院支援に関わる多職種との連携の必要性を説明できる 【関連するSB0】1、3、4 【事前学修:120分】岩手医科大学附属病院のホームページを閲覧し、患者サポートセンターの機能について把握する 【事後学修:120分】入退院支援看護師の看護活動とその役割について、要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
9/24 水 2限	【授業内容】地域・在宅看護における家族支援 ・ジェノグラム・エコマップの作成を通して、家族アセスメントの方法を説明できる ・家族介護者への支援の方法を説明できる。 【関連するSB0】3、4 【事前学修:120分】2年生で履修した「地域・在宅看護学概論」の家族看護に関する理論を復習する 【事後学修:120分】教科書にある事例のジェノグラム・エコマップを描いてまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
9/29 月 1限	【授業内容】地域・在宅における看護過程 ・在宅療養者と家族の多様性を説明できる ・訪問看護における看護過程の特徴を説明できる ・在宅療養者の特性に対応した看護過程の展開が理解できる 【関連するSB0】2 【事前学修:120分】教科書①4-1「地域・在宅看護の対象者」、②2「在宅療養における看護過程の展開技術」を読んで概要を把握する 【事後学修:120分】訪問看護利用者の特徴をまとめる。在宅における看護過程の展開について要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
10/6 月 4限	【授業内容】地域・在宅看護と小児ケア ・小児慢性疾患などの地域・在宅における小児ケアの健康問題を理解した上で、高度の医療を生活の中で行う医療的ケア児に必要な看護援助を説明できる ・地域で暮らす医療的ケア児に必要な社会資源を説明できる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】障害児・者を支える制度を復習する 【事後学修:120分】小児訪問看護の要点をまとめる。障害児を支える社会資源(職種の役割を含む)をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
10/17 金 1限	【授業内容】地域・在宅看護と認知症ケア ・認知症の各病期にみられる症状を理解した上で、療養者と介護者に必要な看護援助を説明できる ・在宅における服薬管理が必要な療養者・家族への看護の特徴が説明できる ・地域でひとりで暮らす認知症高齢者を支援する、介護保険制度によるケアマネジメントの提供方法や多職種の連携方法を説明できる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】介護保険制度の利用の流れを復習する 【事後学修:120分】介護保健制度によるケアマネジメントの流れの要点をまとめる	地域包括ケア講座 五日市 瑠美子 助教
10/20 月 3限	【授業内容】地域・在宅看護と障害ケア ・成人期における精神障害、身体障害者の疾患や関わり方を理解し、療養者に必要な看護援助を説明できる ・地域でひとりで暮らす障害者を支援する、障害福祉サービス利用のためのケアマネジメントの提供方法や多職種の連携方法を説明できる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】障害者総合支援法による障害福祉サービスの利用の流れを復習する 【事後学修:120分】障害者総合支援法によるケアマネジメントの流れの要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授
10/23 木 4限	【授業内容】地域・在宅看護と難病ケア 難病療養者の看護 ・難病の定義と難病対策の動向を理解し、医療と介護ニーズを併せ持つ筋神経系難病療養への看護について説明できる ・在宅療養者の呼吸機能と環境のアセスメントが説明できる ・人工呼吸器を装着している療養者・家族への看護が説明できる ・在宅における膀胱留置カテーテルを使用している療養者・家族への看護が説明できる 【関連するSB0】3、4、5 【事前学修:120分】 ・難病の療養者・家族を支える制度について復習する(教科書 地域・在宅看護論①地域療養を支える技術 p217-219参照) ・2年生で履修した筋神経系難病について復習する ・講義範囲の教科書を読んで概要を把握する(教科書 地域・在宅看護論②地域在宅療養を支える技術 p183-186、p186-190参照) ・1年生で履修した科目において、呼吸を楽にする援助技術について復習する 【事後学修:120分】在宅で難病を抱える療養者と家族を支える看護の要点をまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教

10/29 水 4限	【授業内容】地域・在宅看護と慢性疾患管理(脳卒中後遺症療養者の看護、(意思決定支援を含む)) ・在宅療養で起こる生活不活発病の特徴を理解し、必要な看護援助や社会資源を説明できる ・生活ケア・医療的ケアの必要な在宅療養者と家族への支援を説明できる ・在宅で経管栄養を行っている療養者と家族への支援について説明できる ・地域・在宅看護における倫理的課題について考察できる 【関連するSB0】3、4、5、6 【事前学修:120分】 ・安静臥床や不活発なことで起こる生活機能の低下やそれに伴う生活不活発病の概要を把握する ・講義範囲の教科書を読んで概要を把握する(教科書 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 p52-53、p195-200参照) ・1年生で履修した科目において、食事・栄養を促す援助技術について復習する 【事後学修:120分】在宅における日常生活の支援の要点、及び慢性期の在宅療養者と家族の看護についてまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教
10/31 金 1限	【授業内容】地域・在宅看護と慢性疾患管理(慢性心不全、慢性呼吸不全) ・在宅療養者の呼吸機能と環境のアセスメントが説明できる ・在宅酸素療法をしている療養者・家族への看護が説明できる ・生活の中で行うリハビリテーションについて考えることができる 【関連するSB0】3、4、5 【事前学修:120分】 ・講義範囲の教科書を読んで概要を把握する(教科書 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 p53-57、p133-139、p180-182参照) ・1年生で履修した科目において、呼吸を楽にする援助技術について復習する 【事後学修:120分】排痰ケア・在宅酸素療法をしている療養者・家族への支援の要点をまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教
11/17 月 3限	【授業内容】地域・在宅看護とエンド・オブ・ライフケア ・最善の人生の最期を目指すエンド・オブ・ライフ・ケアの目的や動向をふまえ、アドバンス・ケア・プランニング、緩和ケア、看取り、グリーフケアを含む看護を説明できる ・緩和ケア期、看取り期、臨死期の看護を説明できる ・自己決定(意思決定)への支援が理解できる 【関連するSB0】3、4、5、6、7 【事前学修:120分】2年生で履修したエンド・オブ・ライフケアに関連した科目・演習について復習する 【事後学修:120分】在宅におけるエンド・オブ・ライフケアの要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
11/26 水 5限	【授業内容】地域・在宅看護と複雑困難事例ケア1 ・健康問題に加えて、家庭内虐待、経済困窮、セルフネグレクト、劣悪な住環境など多様な心理社会的問題があることを理解する ・支援が必要な事例のアセスメントを行うことができる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】事例を読んで概要を把握する 【事後学修:120分】必要な支援を勧めるシナリオを作成してくる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
11/28 金 1限	【授業内容】地域・在宅看護と複雑困難事例ケア2 ・多様で複雑な心理社会的問題を持ち、支援が困難な事例の特徴を理解し、必要な社会資源を説明できる ・支援を勧めるロールプレイを通じて、かかわりの工夫を考えることができる ・支援が必要な事例のアセスメントを行うことができる ・社会資源を考慮した支援を考えることができる 【関連するSB0】5、6、7 【事前学修:120分】事例を読んで概要を把握する 【事後学修:120分】多様な課題を持つ対象への支援の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授
12/8 月 3限	【授業内容】地域・在宅看護とリスクマネジメント(ゲストスピーカー) ・訪問看護師の健康危機・災害に対する役割の重要性を説明できる ・在宅療養者が災害時に支援が必要になることを、医療依存度に関連して説明できる ・災害時の療養者支援の、災害サイクル別・傷病別初期対応を説明できる ・平常時から地域内の関係を構築する意義を説明できる 【関連するSB0】5、6 【事前学修:120分】講義範囲の教科書を読んで概要を把握する。 【事後学修:120分】災害が地域や療養者にもたらす影響から、療養者と家族への防災教育と関係機関との連携した危機管理の要点をまとめる	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授

12/12 金 3限	【授業内容】地域共生社会における訪問看護の実際（ゲストスピーカー） ・地域包括ケアにおける連携、協働の実際から、看護職の役割を説明できる ・療養者、家族の生活と健康支援のための、自助・互助・共助・公助を考慮したケアシステム づくりについて考えを深めることができる 【関連するSB0】5、6、7 【事後学修：240分】講義をふまえ、訪問看護の役割をまとめる	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教
------------------	--	----------------------

・教科書・参考書等		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(1) 地域療養を支えるケア 第8版	臺有桂	メディカ出版	2025
教	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論(2) 在宅療養を支える技術 第3版	臺有桂	メディカ出版	2025
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤	河原佳代子	医学書院	2022
参	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2]地域・在宅看護の実践	河原佳代子	医学書院	2022
参	強みと弱みからみた地域・在宅看護過程 第2版	河野あゆみ	医学書院	2023
参	地域・在宅看護論	河野あゆみ	メヂカルフレンド社	2021
参	関連図で理解する在宅看護過程 第2版	正野逸子	メヂカルフレンド社	2021
参	家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第6版	渡辺裕子	日本看護協会出版会	2022
参	看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護	岸恵美子	中法法規	2022

・成績評価方法
【総括的評価】定期試験90%、提出課題10%にて評価する。 【形成的評価】各回に講義において、振り返りシートの提出を求め、学習の成果を確認する。 適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績には反映しない。

・特記事項・その他
【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 ・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。 ・レスポンスカード・提出された課題については、授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 保健師(別表1):公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援 看護師(別表3):専門分野 地域・在宅看護論 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 地域における保健師や病院看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的			
使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義および学生のグループ発表時資料投影
講義	DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器	1	講義時資料投影
講義	デスクトップパソコン(HP ProDesk 400 G7 SFF)	1	講義資料の作成等